

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2016年11月）議事録

日 時：2016年11月18日（金）午後5時30分～7時00分

場 所：AP品川 Wルーム

議 長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登、西平賀昭、永富良一、碓井外幸、
甲斐裕子、小野寺昇、勝村俊仁、後藤勝正、
坂本静男、下光輝一、須田和裕、竹森 重、
武政 徹、内藤久士、成田和穂、
山内秀樹（各理事）、小林康孝（監事）、
立身政信（第71回大会長・岩手）、
戎 利光（第73回大会長・福井）

欠席者：大野 誠、栗原 敏、田中喜代次、田畑 泉、
西牟田守、能勢 博、浜岡隆文、宮地元彦、
川原 貴（各理事）、
井上 茂、清田 寛、定本朋子（各監事）、
三浦裕正（第72回大会長・愛媛）

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

理事会開催中に各自で議事要旨の内容確認を行い、訂正等がある場合は申し出ていただくこととし、理事会終了後に承認とすることとした。なお、社員総会と評議員会の議事録は、次回の理事会で議事要旨の内容確認を行うこととした。

2. 日本体力医学会健康科学アドバイザー新規申請者（追加）、称号復活者について（碓井称号委員長）

日本体力医学会健康科学アドバイザー®の新規申請者5名の氏名リストが提示され、承認された。また、称号復活申請者1名の氏名リストが提示され、承認された。

3. 来年度の選挙日程等について（鈴木理事長）

配布資料に基づき、選挙管理委員会の西平賀昭業務執行役に選挙管理委員会の委員長・委員の選出を委任することが報告され、承認された。

4. Web活用による選挙システム導入について（武政総務委員長）

前回の選挙にて郵送料、事務委託費等で1,782,000円の支出があった。この支出を抑えるために検討を行っており、2017年の選挙については従来通りのマークシート形式で行うが、2019年の選挙において、Web選挙に移行することについて、検討を進めていると報告された。

Web選挙の実施においては無記名投票ができるのか、投票率が低下しないかなどが懸念され、さらに、その他システム上の問題を総務委員会で検討し、理事会に報告することとなった。

5. 大会演題申し込み時の年会費納入状況チェックについて（鈴木理事長）

前回からの継続審議になっている。年次大会参加申し込み時に年会費未納者のチェックについて、現在の進捗状況について報告があった。年会費納入状況の

チェックについては、学会事務局より、大会事務局が演題募集を終了した段階で、学会事務局に演題申込者の情報を送れば、年会費未納者のチェックができること、また、年度末の7月31日の時点で年会費を2年間滞納している方のリストを大会事務局に送り、演題申込者の筆頭演者の中に自然退会対象者がいるか調べてもらう事もできると提案された。

以上の提案をふまえて、総務委員会で検討することとなった。

6. 大会終了後のJPFSMへの英文抄録掲載料について（鈴木理事長）

JPFSMの英文抄録の掲載料について、「体力科学」の投稿規定に基づき、会員は無料で投稿できるようにすることが提案され、承認された。

7. その他

1) 地方会の抄録掲載料について（武政総務委員長）

武政総務委員長より、総務委員会にて、地方会の定款をまとめ、各地方会の状況について参加費の有無、会計監査を行っているか、地方会の運用資金の使い方等を議論し、地方会の運用規則の統一を図っていくとの報告がなされた。

2) 特定個人情報の取扱いに関する覚書について

事務局である学会支援機構より、国の法改正に伴い特定個人情報の取扱いに関する覚書が配布され、本契約について料金等の説明があり、審議の結果、承認された。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 総務委員会（武政委員長）

資料に基づき、以下のように、予算削減案の提案について報告された。

(1) 郵送費がかかっているものをWeb化する。

①和文誌・英文誌をオンラインジャーナルにする（編集事務局の運営上の関係から、完全なオンラインジャーナル化は、当面見送ることとした）。

②和文誌・英文誌のダウンロードを有料にする。ただし会員は無料ということで、差別化を図る（有料にする場合、J-stageから別の管理サイトに委託をお願いする為、管理費用が発生してしまうので、見送ることとした）。

③選挙に際して、投票用紙の発送費を削減するため、Web投票に変更していく。

(2) 会員確保のための改善案

会員であることのメリットを作り、若者に魅力ある学会にする。

①学会大会参加費の軽減

②学生の年会費の軽減（一般会員の半額など）

③和文誌・英文誌コンテンツの無料ダウンロード

④若手に「論文賞」などの賞を授与する

(3) 地方会への補助金の削減

理事会で承認された原案通り、2017年8月1日

以降、補助金120万円を減額とすることにした。

(4) 理事会開催通知について

理事会開催通知の印刷、発送に印刷代や郵送料が掛かるので、今後はメール配信に変更し経費削減を図りたいと提案があり、承認された。

2) 編集委員会 (後藤副委員長)

(1) 2016年9月1日～11月16日までの学会誌への新規投稿の状況について、JPFISMが9編(内、海外から3編)である(昨年度に比べて1編減少)。現在査読中の段階で、不採用は2編である。体力科学の投稿状況について投稿数が4編である(昨年度に比べて7編減少)事が報告された。

(2) JPFISMへの総説、教育講座の投稿依頼を、11名の編集委員の先生方に執筆を依頼していることが報告された。

(3) JPFISMに大会の後抄録を掲載するも、大会発表カテゴリーが体力科学とJPFISMで一致していないので、今後統一していくことについて意見が出されたが、審議の結果、大会での抄録掲載との関係から現状を維持していくことに決定した。

(4) 和文誌、欧文誌のオンライン化について

和文誌、欧文誌の完全オンライン化については、学会誌の編集事務作業を担当している鶴岡印刷株式会社の運営上の件も考慮し、当面現状維持を続けたい旨、報告された。

3) プログラム委員会 (坂本委員長)

資料に基づき、愛媛大会での本部企画シンポジウム案を検討していること、また、シンポジウムに招待する演者の謝金捻出のための協賛金獲得について、今後委員会で検討することとなった。

4) 渉外委員会 (永富委員長)

同委員会でのメール審議に基づき、オランダとの共同セッションおよびECSS交流シンポジウムについて報告された。

(1) オランダとの共同セッション

10月20日に第二回オランダ経済使節団(スポーツ科学)が来日し、スポーツ科学の2020年に向けたラウンドテーブル討論が行われた。ECSSの評議員でもある使節団代表のWillem Van Mechelenから、日蘭の学术交流についてぜひ前向きに検討して欲しいとの要望があり、Willem Van Mechelenと日本体力医学会大会で、日蘭セッションを設けられるかどうかについて協議した。運動指導者にも医療関係者にも欧州のやりかたが有効であることを紹介したいので、愛媛大会で紹介で

きるように調整を行っていく事が報告された(招聘費用については、オランダ大使館の支援が受けられるよう、調整中であることも報告された)。

(2) ECSS交流シンポジウム

ECSS Dublin 2018の交流シンポジウム公募には、1件も応募がなく、評議員の矢野博巳先生に紹介いただいた演題を取りまとめて頂き、提案を行った事が報告された。

5) 倫理委員会 (成田委員長)

資料に基づき、倫理審査の申込用紙について、審査対象者は、体力医学会会員で倫理審査ができない方々とし、年内に倫理審査規定を確定して、年明けには倫理審査を公開していくことが報告された。

2. 第71回(岩手)大会の報告(立身第71回大会長)

配布資料に基づき、以下の事項について報告がなされた。

参加総人数：1,662名

総演題数：778件

ポスター発表：769件

収支差額は614,611円の黒字決算であり、事務局に返金されることが報告された。

3. 第72回(愛媛)大会の進捗状況(鈴木理事長)

配布資料に基づき、第72回大会のポスターが出来上がったことが報告された。

4. 第73回(福井)大会の進捗状況(戎第73回大会長)

大会の準備状況等について報告があった。

会場：大会会場について、福井駅近隣のAOSSAとハピリンを現行案としていたが、選定中の大会運営業者との協議のなかで、①参加者の動線(移動距離、移動しやすさ、会場での大会参加者と一般人の区別)、②会場のキャパシティ、③運営の効率性・セキュリティなどの問題から、福井市フェニックスプラザと福井市体育館に変更する案も含めて検討中であることが報告された。大会会場案は以下の通りである。

案①AOSSA 1, 5, 6, 8階、ハピリン3階

案②福井市フェニックスプラザ、福井市体育館

会期：2018年9月7日(金)～9日(日)

5. 第74回(茨城)大会の進捗状況(武政総務委員長)

大会の事務局長が前田清司教授に決定したことが報告された。